



ほろいずみ ニュース

はつこう ちょうきやうど しりやうかん すいさん やかた
発行：えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館
〒058-0203 ほっかいどう ほろいずみぐん ちょうあざしんはま ばん ち
でんわ
【電話】01466-2-2410 【FAX】01466-4-7966
【HP】<https://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

No.184

れい わ ねん がつ にちはつ こう
令和7年11月13日発行

こうしき
公式HP



こうしき
公式X



こうしき
【公式X】@Erimo_Museum

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

＼ 襟裳岬のゼニガタアザラシについて知ろう！ ／

「ゼニガタアザラシ学習観察会」に協力しました

令和7年10月25日（土）、ゼニガタアザラシの生態や人との関わりについて学ぶ「来て！見て！知ろう！ゼニガタアザラシ学習観察会 ～人とアザラシの共存を目指して～」が日高振興局主催で開催されました。郷土資料館と環境省えりも自然保護官事務所の職員が講師として協力し、会場の襟裳岬「風の館」に日高管内の親子18名が集まりました。午前の部のゼニガタアザラシのお話では、郷土資料館から「えりも町とゼニガタアザラシの関わり」をテーマに、町内でアザラシ猟が行われていたことや、アザラシの毛皮や肉、脂肪などを加工して、人の暮らしの中で使っていたことについてお話ししました。午後の部の観察会では、外の展望台からゼニガタアザラシを観察しました。襟裳岬にしては珍しく、風もなく暖かいお天気で、アザラシ観察日和でした！



＼ 教えて！カマキリ情報！【続編】／

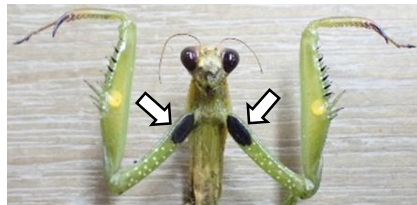
えりも町内でカマキリがみつかりました！

町内の2か所から、2件の情報があり、種類を調べたところ2件とも「ウスバカマキリ」であることがわかりました。



本町（左）と笛舞小（右）で見つかったウスバカマキリの標本

ウスバカマキリは体長60mmほどの中型のカマキリで、^{ぜんきやく}前脚の基部の内側に黒い模様があることが特徴です。



^{ぜんきやく}ウスバカマキリの前脚にある模様（⇒）

郷土資料館ではカマキリ情報を集めています！

町内でカマキリを見かけたら、見つけた日にち、場所、状況などをぜひ教えてください！

カマキリの卵を探してみよう

カマキリは秋に産卵します。カマキリの卵は、卵の^{らん}う（卵鞘）と呼ばれるスポンジ状の鞘に包まれていることが特徴です。卵の状態で冬を越し、春になると中から幼虫が出てきます。カマキリの幼虫は成虫とほぼ同じ姿をしていますが、翅がないため飛ぶことができません。幼虫は脱皮をくり返して成虫になり、秋に交尾・産卵をします。

カマキリは湿った場所を好んで卵を産むので、川の近くの草原を探してみると、卵鞘^{らんしょう}が見つかるかもしれません。



2024年に様似川で見つかったカマキリの卵鞘^{らんしょう}
撮影：様似郷土館 榎本尊学芸員^{たかし}

冬を楽しもう！ 資料館の事業のお知らせ

11/29 お正月の準備をしよう
(土) 年縄を作ろう

町内で刈り取られたすげ草を使い、年縄を作ります。北緯42度の会の皆様に教えていただきながら、去年より難しい「ごぼうの年縄」づくりに挑戦します。自分で作った年縄を玄関に飾り、お正月を気持ちよく迎えましょう！

【日 に ち】 令和7年11月29日（土）
【場 所】 えりも町郷土資料館
【時 間】 集合10:00 / 解散12:00頃
【参加費】 無料
【定 員】 5名
【対 象】 小学4年生～高校生
【持 ち 物】 汚れてもよい服装 軍手
【技術指導】 えりも町郷土資料館 北緯42度の会

【申込方法】

- ①HARPフォームからオンライン申込み
- ②郷土資料館へ電話で申込み
(01466-2-2410) ※火曜定休

年縄を作ろう

【申込期間】11/14～11/28

https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?i_d=LQcG9cy5



事業の内容について、詳しくはHARPフォーム・公式X・公式BLOG・HPをご覧ください。郷土資料館へお問い合わせください。